り 持

持

5

物

問

問

13

合

わ

せ



風鈴の音が 心地よいころ となりました

NO.736 平成27年

この広報紙は、環境に 配慮したバージンパルブ を使用しています

れの

ち 確 は

く認納

だの付

う

さえ、

す

る

期

さ

玉

民

健

康

険

る収ら法

、すに通金付

。よ徴か方

に者健歳い

る期

発行 八街市

-編集 総務部秘書広報課 発行日 毎月1日・15日

 $\mp 289 - 1192$

千葉県八街市八街ほ35番地29 **☎** (043) 443 − 1111 ホームページ

http://www.city.yachimata.lg.jp/

男 37,147人 女 35,943人 世帯数 30,725世帯 人口の動き 6月1日現在 人口 73,090人(前月比一26人)

保険 税 定内訳 健 康 の

区 厶		税率		
区分	計算方法	医療保険分	後期支援分	介護納付分
所得割	(前年中の所得-33万円)×税率	6.3%	1.7%	1.0%
資産割	固定資産税額(土地·家屋)×税率	20%	_	_
均等割	年間 1 人当たりの税額	22,000円	9,000円	11,000円
平等割	年間1世帯当たりの税額	35,000円	_	_
限度額	打ち切り額	510,000円	160,000円	140,000円

保

険

税

率

一成の さ以27合 の

たれ護ま険 。ぞ納せ税 軽 減

まをとわ

そ介り保

れ付ん率

2 分がは

円賦後れ

引課期ま

上 度 援 と

げ額分変

要受た者で者

万の、

き限支

1)受申税部額 特平け告が拡へ世 定等らを軽充平帯 世割れし減 帯額まて のせいれ下年計 同軽んなまの4所 。いす場月得 と 軽 (は日が 減所保に基 が得険一準

。 合 1 額

期日的び用さ倒 さ非 間か失特保れ産平 はら業定険た・成 れ自 た発 方的 は理 申由 請で を離

そ者理特65解22 申の一由定歳雇年 請翌の離受未な3 す年方職給満ど月 る 度 は 者 資 の に 31 末離へ格方よ日 ま職非者 でり以 離降 での自お 軽の翌発よ雇職に 納なま※い額ら税す※でよ出さ象りの料国受ま加帯

リや

う国ス火

し民ト災、

も康に病

困保よ気

て健ラ

難険る

忘分 にび療通 2 は 6 平とよ医国 (等な 8割 9 带被移 保行が 。 世れ間単と齢 帯、、身に者

民

健

康

保

納険

付税

方の

旬

郵納保知

定後康

を通期保

7知高険

月書齡税

中お者納

よ医税

ず納納送入険書 に付付し通料

持を際す書決

お書のま知額と民

③ ま 前 成 減 に 期 用 とが少よ高を国低 1 同変しり齢受民所/ 様わて国者け健得4年がた国度保 のらも保医て康世軽目1世保に険 の療い保帯減の/ 減け所被制る険にさ特2 がれ得保度世税対れ定軽は険し後 受ばや険へ帯の**す**ま継減5者た期 世者ので軽るす続さ年がこ高 け ら移帯数移 減軽 れ行構が行後適減

納権い

方民

、康

う納を保め利る国

限え税義とは健

で貴国一時一保

納な健あ一付に

付財康り保を加

し源保ま険受入

で険す税けし

。 をる

重民がに給険

期支険るし

まるは務同

す制

医被被す でけ65か すら歳ら当療用扶 れ以国該制者養 ま上保被度保者 すの被保に険に 。方保険移か係 、は険者行らる 申 ` 者のす 後 減 請軽と被る期免が減な扶こ高 必がっ養と齢

付どた災ま一天世る10きるるれ者ま1を民給で入主特納へのは国 ま納 7 です/合健額の者を別付口天、 。2わ康が世全含徴 す付とい保 °へにた険なをせ保年帯員め収□振き特康 方税お超た険額でがたのの替 更りはを、え額税18あ65国対2や一徴険 、確特ながと万つ歳民象種納と収税 す口 こ振にに徴方年護以 と替申納収と金保上年74保 がにし付対な額険で金歳険世

さだ年書をれく金の開 な税失倒 との業産 て税か課始 間だ付 り保護え 年 ささ後ま険分ら年いれ日す料とれ度 度 者福 ます個 のしたの納て場途 3 め納合中迎で の別 祉 でに、納 でえ65 課 方め 1 がてこ満ら歳 4 ご付 変いれ65れを 9 留書

意が

く送

す欄引帯方月

税さ明

にきのはか

額せ細納特

がて書税別

記いの通徴

載 た ― 知 収

` 5

ത 途 中 更たま歳る に介でを方 な護介迎へ

☎国す で日者 金 1 1 く送料か 3 だ付がら 9 ささかは

間まり期

高まてまこな医康をた国 課ご付療歳れ民り 留書保のま健

4保の後齢た課でれり療保迎方民 税はにま保険えが健 納医75さ国よす険にら 。に代れ年保 意が険月す康75 。保歳 険の 税前 いれか後 と月

し分

相年まどのき 談金すが延は く課の認長だまでめ、 。納早る制付 税め場度や 課に合の納 ま、が適付 で国あ用期 ご保りな限

減

加たが

入だ受

時会れ

点社ま

でのす

終健

了 康

で 保

す険

し、け

5

Ĺ

た

迎の え途 ら中 れで る75 方歳

加わた度険 入り場のに す後合途加 `中入 こ高国でし へを と齢民75て

後 期 度 0 険

保の額すひ と保 、よ徴(料<mark>の注に付に料</mark> 特る収年の納意よ方納は つ法め てはて被 い保 いな年た険 り金だ者 ま受き す給ま人

がの振天法 が の w 八 に 優 2 替 引 は 、 先種やき さ類納

か ら 天引き: 5

`の月

②額合定※天2ししき月 ①れで付と別 **ほの 毎 年** をはし納引月引た · すれ**4** ます書普徴保**険でな 金**お、た付きにい保さ8で**て月**すがに通収険**料ごど** らし日険みせ給残料ての仮る年 天し通料のてさ額かい年徴方金 知額保いれをらる金収のを険たる、仮方かへ のを険たる、仮方か(う上料だ年10徴はら4 え回がき金月収 、る、まかかを決天・ 差場決すらら差定引 6

れ な

年料国い替/を期未 のと民たや2合高満年方年 2同健だ納をわ齢の金 月じ康き付超せ者方受 8 保ま書えた医や給 回険すにる額療介額 。よ方が制護が 7 や納りは年度保年 な月介期納、金の険額 りか護数付口額保料18 まら保はし座の険と万 て振1料後円 ①まに 措 保で口方か者後す軽「置平険き座もら

か ら天引 き

くに街27平れ10 な市年成る月 きだでならに 4 26 **方の** 開、納どれ転月年 始10付はた入110 さ月書、方さ日月 7 (れま1 せので て年納月②たで日 い金付かの方のか たかしら方や間らだらて9は75に平

に、納の率額定まで、 一、納の率額定まで、 一、納の率額定まで、 一、対した。 特付上のようでは、 のでは、 のでは きされれる。 し金受給 (給 なっ降すって るすのの基い も年での基い

まに 措 保で口方か 保・・・保合保金優年礎る※き天い月除歳八成す軽「置平険き座もらす険保所均険が険が先金年方複ま引たまくに街27の減保は成料ま振、天で料険得等料あ料基順か金は数すきだで)な市年で額険下27軽す替市引にの料割割算りが準位ら)、の。をきはならに4、等料表年減。ににき、納の率額定ま天額が天を国年 開、納どれ転月ごが額の度措 よ申)特付上 のす引以2引優民金 始10付はた入1に確記決との署 るした即ち四フの世。きに乗されて るしを別<mark>方</mark>限73基 納出さ徴**法**額・8**礎** るれ収の 43 7 を こて 変 57% 0 要 とい年 更 万 の 択 でる 金 円 円

と期の減保は成料 主者ごが額の度措 の医確記決との置 合療認載定お保 計制くさ通り険 所度だれ知で料得加さて書す軽 が入いいし

すの※る証て持で

一療れの 割所扶会制ま世 が得養社度す ゜は 9割者なに

所自必をもちのな請が時はるい関をて高市認度の万す所金ち所軽かでの入後等軽得己要郵該の有おを軽の、とがで受い齢県定額方円。得額、得減かあ健す期割減 割が基割さらっ康る高が判 以 上年が58礎をれずた保直齢軽定 2金5万控負ま、方険前者減以 1 収割円除担す均はの 。等、被 1入軽以後す 万円以る方の総所の総のののである方のという。 下3まは得う 割は一 ど加

額限 負 担 額

申代院合れ払機療れ期 保口安野談の有名を軽のこかで気が廊県企会 状負は送当方効平受減医病と一同ける者民証適 況担あしすで期成けさ療院も定じた方医税の用 に限りまる、限27付れ費窓にの月とが療非申・ よ度ます方更の年ける負口、金のき高制課 よ度ます方更の年ける負口、金のき高制課 り額せのに新認7て認担で入額窓、額度税 異はんでは時定月い定額支院に口同なに世 額度税を準 。申、に証31ま証と払し抑でじ外加帯 請認おを日す交食うたえの医来入で す定いおま。付事入場ら支療診さ後

被保険者の全員が年金収入で80万円以

所得額が33万円+被保険者数×26万円

下の世帯(その他の所得がない)

所得額が33万円以下の世帯

り世 後期高齢者医療制度保険料均等割軽減措置 軽減率 判定基準(世帯内の被保険者および世帯主の所得の合計金額) 減 額

以下の世帯

以下の世帯

街

職

員

採

用

試

験

般

行

政

初級など)

職い、ム

直ペ

61 合

わ

金が簡い入 が後新課、易被さ後8期 間月は 国31、 4保日有しま届書保れ期月高 。年すにし加**す**証

所得額が33万円+被保険者数×47万円 ン ょ び

間消※

般行政. 1 人 八 (障) 程度)

格併込 まジし7 すかま月 らす中 。 旬 ₽ ダまか

・・採ウたら · 者 】 数

共成用日 総申と願みこ同27試付市 場にの実市試る28 合限受施職験職年 はり験し員 員 4 ま申ま採をの月 失す。しず用平採1

場時採第接 1 ※ ~7 **験** 第 2 佐 9 用 1 お ジ 受

4務有送土月申1次倉月共次問を験 4課効の曜28込次試市20同試いご資 場·日受試験立日試験合覧格 合日 (付験 は曜8期合 8日月間格 月 を 14 者 14 除 日 に 通 知

日く (金)

市 街 市 酒 々 并 **BT** 消 防 組 合 職 で月 採 用ま急のまる救日 共せ救方で方急ま 用 にま救で 試 資た命に

1

格は士生

・・採合り防 に印員4 昭救ま成昭消験救消用はま組受 よ旛の月消 和急れ10和防資急防予失す合験り郡採1防62救た年62 格救 定格 。ま申実市用日組 程・りが市はま採をでは 度職ま判、す田平埓、 ま 判 す用平採 **務の内** 町)に限 町)に限 。共成用平 同27す成 試年る28 験度職年

採い救み季す

同ん命

試

。士

と

2 度職 程 度 ☎防佐消郵 ← 午 7 付佐 9 旛に消を平のま成 4組倉印送土前月期倉月郡学防取成資れ8

34,830円

32,895円

19,350円

7,740円

・受

9割

8.5割

5割

2割

年命方4年

月 4

1 月

日 2

ま日

でか

にら

生平

※

4

月

2

日

か

5

1

9

0

受場時日も※ 立日職はよ見年を方4 佐田員問び込春有 倉 中 学

校

消八効場・時日 合日分分 は曜午8 8日後月 月を514 14 除 時 日

日く (金)

消

防街 1本市

合市有の曜 9 28間市20市歴お得28格た年

部酒 総々 務井 課町 遅は、10 延、濃時

の防霧頃

• *

お災等

知無の

ら線天

たけ布意

水けの項

田て通

周く行

辺だは

駐いで

。き

る

のさ

車

1

4

0

2

さ中事

時止実市 を順不雨午7に施町ましタると、

し延順天前月ごしでたました キキの、417協まも、すにめ

だでの時さ、農期

い危薬は

。被散、

害布近

防を隣

まだ散注アロラ用米い象上草谷住布たけ布意しアブ薬カも病砂、流野地

1 アブ薬カも病砂

シ

類紋

`枯

ウ病ン、

カ斑

類点

洗は万いい一も

落す薬の体

一も人

☎農い散散後洗くせかして散さかな

ルイド

バス

リタ

ダー

シク

ンル

エフ

F

ブサ剤メち害地勢

ままの、417協まも、、すた場強時日力する。は合風〜金くの稲の

せで候※

すにめ良稲市

るラ米害物

農ジの虫防

散ン定除協

布へ生の議

をリ産省会

実コを力で

古戸

水東谷、田吉、大

砂

田岡谷

`田流

、用 小

コ安防疫

施プ図化は、

。よ

薬

ム病虫区田根榎

0)

対

質病植

都 市 曲 係 る 案 の 概 要 0 縦 覧 お ょ び 公 聴 会 を 開 催

○もり 関市都会しに市発 発都案に案つ連計市経やつ計及都 及市の、のきす画型落立 のきす画計済高い画び市

針整 の備 変 更開

17

IJ

夕

よ

る

農

薬

散

布

を

実

施

街

ф

学

る人 資○※場※時○場方を市格公直中公8公都 (土曜・日曜日 (土曜・日曜日 を) 日出がない。 中央公民館 中央公民館 中央公民館 中央公民館 含内 前 むに 8 一住 時 、所 30 曜午分 利が ど午 日後「 害あ ・場合は中午前10時 都 関る を 5 計除, 係方

中

に ※ る 人 公は公 述 述 さ抽申 れ選出 たと者 意なが 見り多 のま数 要すの [^]。場 旨 合

> 申ま県考と ホ方そ 一をの 立公意 一会に ジの対 に後す 掲 載千県

置く15

分

5 課

☆都有郵出課公参都とど公出すのえ まを述

場 は月っ 3 17日 日 金)17 消日

が〜

あ法

4 計 3 画 課

市すを述方 計る記申法 画意載出 課見の書 へのうに 郵要え住送旨、所 た添べ氏 はえよ名

間印※提画※持てうな 4市効送期に述 の間あ申 り出 合 7 ま 書 す様 式 は 都 市 計

交 通 **災** 害 共 済

加

ま

ょ

カ テ ク テ イ 1111

センタ

時

30

分

く院ま害

共明セ身どは い舞人取 マキン事に、見を金院で交 遺障ガ亡見が夕故よ自舞助を・死通 舞発しのる動金けお通亡災 1金行かみ交車の合 さらで通や対うるをた共れ、、事オ象共、しは済 れ た交自故」と済市たケは 事通動のトな制民とガ 故事車うバる度がきを交 で故安ちイ事でおにし通 す証全人な故す互見て事

通体ケ死済書ン事に 万万 50円円

児 害 舞舞 5 金金500 万

日 災翌 課年 8

・○場・場・場・○出受 り テ 時 11 イ

ティン 時 30

円

7 9 き 0 10 万 円

月 31

午 7 西午東午天午 7 張付 9 済年済遺 時セ30ン

まさ園生学テくのく

せんで徒校ィ3家11

んは集やにセンタ 加加内籍

加加内籍

分

0 円

分夕

時

1

1

1

9

間入入のし※場・場・○ ☎防のし保て市山午南午7住午文午泉 4 災必て育い内田後部前月野後違前台 4課要い園るの白1老910公1コ10区

時

前月林後吉前登前月受場月期間掛児

校 • 街 南 ф 学 校 0 ル を 開 放

ま

て剤 くが だか 八 八開 8 月

5

日

うけ、

し薬

7 か用し 休る 時月月日合天月南月北期 日日点あな日学日学(月)(月)検りどく校く校、、日まに。 日まに8 すよ月 。り16 10 日 ·休日 (月)

場

ギンの版布級 *。終了 くらな 利 て未市各午午午用87場場へ8街7街放 い就在区後後 る学住分BA前間327~が候6中25中間 とは方も午午午 50後後前 人 3 1 10 時時時 5 5 5

5 3 正

で

m

1 9 1

ルまル

のすの

飛

び

込

Z

は

禁

止

。最

深

部

は

1

たさい。となどは、散れるで水田になってください。

こ児のと とお 保む 護つ 者が と取 一れ

わ

せ

時時午 す 申費れ 口の振は※ 次意へプ開無のましホ興7同の中い小緒 の事1|放料プたドー課月意同学お学の でムで15書意生よ生入 1 ル開きペ配日(書・びは水で放ま1布水プが高同保が も期すジすか1必校意護必 。かるらル要生書者要 配間 °はがの らほスカ 布は ダかポー 保必付 しそ 115 まれ ウ 護要き すぞ ン市ッ

さ童

ら護ペ病感酒

目者ッに染気

をのトかのを

離方連かお帯さはれっそび

な、のてれた

い幼方いが方

るあ

方る。疾

で児く・

だ児

ので当 申受日 請けに で付そ 1けれ 区まぞ 分すれ [°]の

は きま

注 方項回ル日

な 7 ☎スだど自各貴すプあプいか保・ 4ポ×1 転白重 °1 h 1 °ら護ペ 4 ポさし転自重 4 I いて車で品 いて車で品。、は管な ッ 振 盗必理ど 難ずしは に鍵て十 注をく分 意かだ注 しけさ意 てるいし

号の見方 時 H 時 会 場 内 内 対 対 象 定 定 員 費 参 加 費 申 申 L 込 み X 締 8 切 り 持 持 ち 物 問 1 合

記号の見方 地 域 時 の 日 時 場

なれさ ままに なは 。 地 39 開域の 催活地 紹予動区 定がが L の行あ ま 主わり

センタ 無すく

翌

日

時

30

分

時象親二 り 会

童公 な園 ど

り 区 後 月 区 6 8 納 6 8 納 源区はお り 天 <u> </u> H

模 擬 店 な セ タ 1

睦 4 レ<mark>区</mark> ク 民 0 IJ 対 6 2 2 エ 1 シ \exists

紹

会場

内

内

容

対

対

象

定

定

員

費

参 加

申

申

込

Z

X

締

8

切 り

持

5 物 問

問

V

合

わ

せ

対

3

8 朝朝 🏗 日 日 4 $1 \times \times$

月 ユ午盆区 二後踊民4 テ 6 り

館 2 鼓特コ日納

実午7 1住前月大 ル小926会送学時日 ル が校会 体午 風育後 ŋ など

選 会

時

1

7

4

時○ 間内場 時○ 間内場 時○内 午 8 六 **六 ☆** 清踊五午 7 五 **五 ☆** 羽踊四午 8 四 ボ 時 時中 夕30止 分

祭り区民 対 1 象 3

問募※<mark>内場</mark> 時○《 松集フ流六午8六<mark>六</mark> 本 リレ区後月区区 本 リンニギョス 夏 区私営グラウンド後3時~9時(雨天平区夏祭り) F 翌 日

そうめ 1 マー ーケット参加者めん・ビンゴなど

午8大 区 6 1 区 区 7 吐 口 足 **>** H

村り東後月東東 郎花子時日民 火ど30生納・も分(涼 模の 擬遊9天会対 店び時翌 な場

ミ (土) 涼 , イ時大<mark>象</mark> セ〜会 セ

民 6 9

対

問内場 9 抽 時 選 会 30 分

時 止

時○場 セン 夕

問場 グラウ ン K

対 9 象 8

井り昌後月関関 彦模下時日納 擬駐(出涼

店車 9 な場時

対 4

時○内場 ゲル 1 場

店

問内場 フ

5

天会対5

時 \bigcirc 翌 日

問内場 盆 8 1 袁 踊 4 り など

(区民対象) つり

土

街 店 第 2 駐 車 場

木

9

金

8 市 天 7 8 象

時雨 天 翌 日

月

6

火

水

☎越踊真午7 擬民(生) 院店など 8時

日

5

間※※

八諸午

3 2 8

水 泳 12 関 9 る ア バイスを行 LI ま व

厶 ○ドプツ 学合候入日内前場月街前場月街イル進育 コ在10日6南10日25北ザ開委委 Ⅰ 住時を日中時を日中 Ⅰ 放員員ス者 分除 分学 分除 分学を期会会 (正く16校正く8校配間 小午。日プ午。月プ置中 でお 5 しに 日ルま水夏ス 泳休ポ す

横 ※

-バイスし

し

す。

アみし

す者。の

のす

方

か

* 1

※ 時

ル

者ル

のカ入 署 1 場

申対 ※ 時 ○ 脇 の小午 受学

付生

表以

に上

* まよ すり 。中 止 بح な

生がな はありに 護 者 0) 付 き 添

〕関 名ドの※ま ■スポーツ振興課 一次推進委員会より認定希望者には、水 を発行します。 「の同意書欄に保護者 「の同意書機に保護者 「の同意書機に保護者 「の同意書機に保護者 「の同意書機に保護者 「の同意書機に保護者 「の同意書機に保護者 「の同意書機に保護者 認市水定ス泳 証ポに

動 交 番 情 報

田

店

		J	L	2	4	٠	3	4	ŀ	
		1	2							
7		8	8		9		10		11	
1	(5)	4								
1	4	1	5	16		17		18		
3		2	1							
2	1	2	2	2	3	2	4	2	5	
2	8			12	11)	4	1			
2	8	2	9	30		31				
5	3									
⑨住野老人憩しの家	三角 さいほう	こぎ1 まれっ	上少昊寸气易官	スノーエ	カスミ朝日店	コメリ八街	イオン八街店	ラン	①八街駅南口	

Ш

店

11時 分 午後:午後2時~3時

街事前 幹情… :部交番 10 ☎崩時 設 4 hできな 11時30分 4 3 1 13 場合もあります 1 1 0

定ぼらで国て前4

立い頃0弥

と

で年時

いかは

1 今

7か

5 S

9 そ 歴 ま ま 0 生

なれり開民た続前代

の賛前時博したら

`の

ででか今研近さり約

す確のか究年れ年2

が否ま期物か時

現両では館し代状論さ、の、と

しるてと

状論さ

号の

H

場

対

対

定

定

員

費

参 加

費

申

申

込

2

X

締

8

切

ŋ

持

持

ち

物

問

問

13

合

わ

せ

2

い、年始俗

いさ0の史し

磨

製せい

石t

斧〟

4cm

時〇 午 午 8 みみ 4原ユ天ど踊後子前月ど 4 利 二 の り り 5 ど 10 1 り 4光テ場台 時も時日台台 (み(生)夏

※ 場 イ合第模 **売擬10こ正** セは と 見 店 時 し 午 だり台屋公園 夕

6 6 6

時○ **問内場 時**○ **含** 午8夏**夕 3** 新子西午 7 納西 後月祭日4井ど林後月涼林 ラ30出(雨泉り大会) 雨会 /イ8天 時翌 日

祭

ŋ

し・ 踊七 り ン な 夕

8
 X
 8 民 7 対 1

9 時

> 時日れ区4美模民(生)あ》 | 擬館 擬館 店 な

時〇🦟 (生)あ $9 \stackrel{\smile}{=} \stackrel{$ 日り

☎小踊山午8八山☎賈踊松 4澤り甲後月街冊4井り林 ・ 台 4 22 ふ 台 4 正・ コミュ 擬 セ 夕

翌つ対8

屋ン時 台第30 一分

6 5 6

涼 Z

問内場

さ除の理

。猶付な

予がど

制困で

度難国

をな民

○△方だと

の手き必継請・

るた要り認要に

るになったされては、 もはなまって、

年

金

わ帳に要続が猶要

かま必あ承必予件

・たてい・納由

4 0 2

訪 11 弥 0

街

歴

史

探

は青た使水こ `技陸器徵 L 。と弥ま人術か・づ [°]の鉄伝銅る 生器来器の 活・しのが

紡錘車

磨製石鏃

つ磨台を坂を元すし田人にか人 。た稲た八つ々市大銅水用田の 4 土を回って区い地ぐ場わも作ち街ての内き器田で稲時 4 資ごはて作かて区際遺ずのにはのい痕かくに稲す作代 、地ま跡ら変よ作 館介古るた磨っら使かに考し印でせはは化りの大鉄特 し墳の矢製た磨用ら、えた旛生んほ ま時みじ石斧製す紡住ら地沼活 石る錘野れへ周し縄ん生す々やら青け が石大へ具へ区い移のい時見代)糸のま動水た代つの

一次かい地磨江紡駒 見を関石

3 料紹一いつら作かに跡かと適 す代でり鏃

1 補八 予街 定市

者議

説会

明議

会員

ど般

な

次立市 すり定員日 明だ定ま明選 予 会さのす会挙定 0 なにの ゜は ど伴八 をう街

劈 立 必 1出意総午7候ず立の候議8 人席事合後月補出候と補会月 に 者 項 保 1 15 予 席 補 お 予 議 30 健時日定し 福30 (水<mark>者</mark>てる行者一執 祉分 説く予い説般行 セ〜 ン 日い方 夕 1

つは、 き 2 立 人候 以補 内予 と定 さ者

> 候印す届せ 補鑑の出て 前 だれ配すさる布。 い方し

・注場 だ事意 市午 8 さ前事役前月 室 4

ず 受け 7

4 挙 4 管 3 理 委 1 員 会 1 事 1 3 務 局

社 を 明 す 動

くでをや月 広り安防非を八り犯 報を心止行強街を罪車目しすを調市支や で指てる抑月推え非 のし暮力止間進 る行 の止 広まるめ力で会報す地、や、で チし で

立 4 会パ R 後月頭前月 1八47P9 街時日R時日 駅(火活(火 動午 • 6 市時 後

に 運

3

時

ルまし転車生加らど夏

ドたなやをがな起も休

い飲運懸どこたみ

シよ酒転念にるちに

発増か子

1 3 祉 1 6 $\mathbf{2}$ 内30 2 の分 各

玉

猶民

を険

け

LI

す

ビガ午8ガ区ガ 4 木ン | 後月 | 民 4 由ゴデ 4 22 デ 5 紀大ン時日ン 夫会夕 (生) 夕 : ウ 7 公 袁 会

し年平

請

付

受月

を平

開成

始28

度

険的た分年

しの免

て。年

るたご

申除と

が

を選 いの ま d もの 段 3 め ごと年 / や所利き金経ま6成 定の人免あ「ま階 除り若たの4す得用は保済**し月27**・ま年、免・くにく、険的**た分年**

れ世偶納す者20除半す応だ免料な

付代度

納歳制額るじ

猶のが1め保 予方あ/、険

制がり4全料

度対まの額を

└象す4・納

☎国け土な雇雇離印番年手は
4個付・ど田田職鑑号金続、

4保付・ど用用職鑑号金続

ピ被受た

者格必

離者要

職証書

年け日(保保さ

金し曜コ険険れ

い祝 1 保給方

ま日可険資の

票

時 。はま が請本

た帯者付

基主お猶

準のよ予

に前び申

該年免請

当所除は

間 受 ※

課で、

せは

ん申

請

を

す得申

 $\mathbf{3}$

U 复 ゆや の とり IJ 交 は 通 無 事 安 全 運 動 7

月

20

5

31

B

1う運す さよ事や入 はトお転るれる故若る べ願な方ま交や者こ ルいどはす通交ののつ故 トしを 。事通開時 やま絶無 故量放期 の チャ対謀 のの感は道 ○**運**なながでが \bigcirc ☆佐飲正ト全自故子動いど 4倉酒しとて転防どのよ、 4 倉酒しとて転防ど**の**よ、き横故 8 警運いチの車止も**重**う日る断の

4察転着ヤ座の 署の用イ席安 根のルの全 絶徹ドシ利 底シー用 1 トの トベ推 のル進 事

011

1

必

用

方

横

ま事でどな し故横安り ょに断全ま う遭す確す わる認の

者 0) 交 通 払 ※

れ力時時会

ま会間間費 。 に871

は000

配〇〇〇

分円円0

円

金

が

支

対 対 ※

ど齢しの手

談

13

ょ

り

柔

軟

13

碁 洗

の濯掃

手食・

おの刈

話支り

•

· 除

事草

買事い

1 年な高応そ相度

者

童

•

障

が

11

者

問まの◎ あ有 る償 方ボ ラン 随 時 テ 募 イ 集アしに 集 興 7

Z

27八

4 街

3 社

0 福

7 祉

4

8 議

会

協

会

る市 3 時 民 **ത** 集 U

無無す千

ま路公すの社

通が

近行が終5

営

問内場 ☎末講中午7街 4 村演央後月を 合 11

対

9

月

30

H

女☆千は房有銚利東道東象7料料 路大里外路 橋有房 九有料有鴨 十料道料川 九道路道有 。道 里路 路料

間路※ 3 計措ラ 画置イ 課実ン 施有 中料

力会員

員随時募ほほ笑み

内家事全般(掃除 **大**さい!〜 「でさい!〜 「でさい!〜 「できる。 「できる。

は掃

ご除

相な談ど

く家

から~」 はなぜ必要か?DV はなぜ必要か?DV 場会「一人ひとりが 男女共同参画」と、はよく耳にするけっして必要なの?っして必要なの?ったが、わかりやするが、わかりやするが、わかりやするが、おかりやするが、おかりやするが、おかりやするが、おかりやするが、おかりやするが、からない。 「ら 男 ら : D V の実態 女共同参画 では会づくり講 のれい どう ?

В

X

分

程

度

度

場時えさ女 ど本言総 8 しん子そう当葉 月ま 健日 福(火) 祉 セ午 ン後 夕 2 お貴学 〕時 5 子 園

申 込

申日しさで※費定 てるお歳料 0 だ方子か 0 さは、んからんか ん小 。申の学 込託校 **〆** 時 児 就 8 にを学 月お希前 3 申望ま

い味

☆症(用)出れの1無1 · ス4画 ク4課 ゴ3 ルー フ 1を 1 **や** 1 **>** 4 7

よディ

○第 申警 申費場 時スう何 A 採一7 込察 ☎ ス 無 ス 午・ 7 ポ 、回 区 用 次 月 期 官 4 ポ 料 ポ 前 9 月 1 気 目 スう何ケデポ、回ッイフ トスリ を投ったけったけっ 軽れたげ にるゴて できる 説にスグ る 説にスグ 日 (日)

郵

5

3

ネ 4

ル 1

***** 6

展 2

示

(雨月) ザ午 天30

1 ツ 振 1 興 4 課

分予試3間採 定験日 署女男女男数 5 9 8 務15 1 1045 課人4 人人 程 月月 2014 程程 日日 度 度 (日)

7 形 ☎ 佐 4 倉 8 察 4 即 0 警性性性性 旛 1 沼 1 観 0

第第 2 1 便便4月船 回23 に 午午運日よ前前行休る 10 9 時時各 30 \ 2 分10搜 時

0)

振

そ興

3 後 0 ∫ 時30時 330分30

問

問

61

合

わ

は時1時11 7 月 24 時 分 \ 分 \mathbf{H}

申費合定場俭※第 募広 多場 数

? きに、 (保険) 0旛消旛路5送所全5希3沼印沼町一。、員人望 員人望 電のま便①料 話氏で③第込 番名)参1 番名、 参 1 4 加希

県

市

町

2部小せ職管受金国退金退4保だミ、期と、民おごな 3 ☎企く金理けのの共設共4年さなお間が8健、連い 4 0業だはもら助退は計 3 金いど間がで月康現絡場 3 退さぜ簡れ成職、 で | 課。で違満き1保在く

安 1 心 1

手 9

3

•

軽

な

間ま の遇 め 退 間てハた有る証る 1本中か退でが掛の中職中☎国くサら効こは国 2部小せ職管受金国退金退4保だミ、期と、民

問メ 3 沼印沼町 9 環有環128 7境効境番 基 基地 3 金 金

一印 一公開 講 5 座 千

時 葉 ホミ午7県い温旛の とれ 成い 果に 5

ン時 夕 1 佐 倉

0 びサ マ ☎ 佐 【 4 倉 サ ボ 宝 2 境 込 7 政順 8 策 課

0 び サ 0 サマ ヤ 宝市ャンく町ンボ ポミニフロ コマレおよ じ村ボ宝 · = 7 くじ お

発幅各の 金販の所事村金 に直 活接協 用分会 れさ通

まれじ

。保

年

は国なへか

。で違満き1保在く合

裁え了ま日険使だに

断のとせ以高用さは

しななん降齢さい国

破いりの使受れ

よまで用給てうし、す者い

0) 場 間抽発ひ実分※※
公選売、績配収通 爆☆村公選売、績配収通全売広市収 写3振益日期千のは益信国場い町益 1 興財 間葉割 の 1 協団 8 県合都の売 パ | 会法月 7 内に道名 県合都の売宝 人11月でよ府都のじ 千日8のる県道購売 葉似日購た別府入場

棄

ま原 を年平 決 9 和 議月な

|職いひ単、や金中

共に

お

。中で社税制小

退す外法度企

な優

。積上で業

立のすの

金

共

業

6

9

0 済

7 事

真惨 し記 へを状た念 展を 。日 展を 日

日して よ平 う。和

き

り給者 証る で 3 満の国ま者了有民す証 内場※ ☆やのラ八のデマ八荒今午毎 4ち販 1 街ススル街天月前月 メ産テ音カ駅のは9第 落 1 楽 マ 北 場 7 時 2

そ新

43-1-1 来 4 3 5 岡 9 田

7

す

が月

ン 1 よ タ 月 (日) 3 開 ば鮮トトるリ19 な野 °なアー日 ど菜 どン隣(日) 一時催

検尿受給

查検給者、

矢

師血

8 8

日日日

除

注

13

診

票、

を

5

炎 面 生 1 40 炎 だ

51昭検

年和診

3 50

月 年

31 4

日月

ル 査 の 昭 方 **ル**

3 28

日日

事ウ液ま日歳

В

型

C

型

肝

4

日

込み・問い合わせは 康管理課 セ 4 3 1 6 3 1

受13※ 時 り 診 健 特 が肝査 グガリ がルがる ま検者

2 分 時(3010 分 時 30 分

地 区 を 巡 口 L

日の検以男診

前性

生 昭

ま和

れ41

対 前 送

注内費 Ρ S

Α

検

査

者八

街

市

玉

民

医康

療診

被查

保

険

者

おを込がへ受 康の4保の定合くは診ち送を検50らた事液0方3歳腺ま象事ウ液ま日管他4年助健わだ、票くしさ診歳れに項検0 月以がす者項イ検れく理の3金成康せさ健のだまれを る前 査円 31上ん。全 ル査の昭課健 | 課 診先い康郵さすた受、年立 日の検 員 ス 方和 。管送いの方け昨齢腺 。でにた年にが 検は方度達ん 診受 前す検 当診申立る診 日票し腺方を

玉

を 望さ ま でご

1

6

3

ま月 1 在

と診予の の併査定助だ封診 ・の成さの会 す後あをいお場 る期 る 受 知な 注こ高方け らど せに 意と齢 ☎健そ☎国ク特い絡方受持発みん新け新意<u></u> 5 た年50 立し対意

でつ 情※注 内 <mark>対健対後費 対特 健 受</mark>13 確い持報受**意**診測身留生**康**後期1康40**定**まお**診**午午**付**日 方人でつ て、・く同健

○間連る 4康の4保の定合

間

F.

ツ

3 診 9

こ中

ま症 服な予 装水防 と分 帽補 子 給 ゃ 日 傘

内

対

対

定

定

員

費

参 加

申

込 み 締 8 つま

切 り

ます

व

総7 合月 保16 相

福(木) 談

健日

セ午

1

30

祉

す心こ食み 。をと事を b で作利う理も、カ田は数の り用す 良「やしい食準て て、 でくる夏: にかかわった。 に呼味・問 ま関るが休り親

調健時日せん 理 を

ぐが自水や衣涼中分バ活冷な扇の

をいか睡ン

ゆ場な眠ス

る所

めにと

て移思

動っ

す服し症なラ用た利風使

良

11

食

事

ド話合前月み子 理福(冰んと 実祉午 セ後 夕時 野 1 30

す識◎

には分分

っで

車りが分

呼なめ補

びいな給

ま場い

き水塩

し飲の

熱 ※ で ※ 〆 費 定 通詳7112護小の講総午7しお 者に 文

ど体ど 育 が調の 有 影や環

へ届

連な

市が時 だ合1ま 給は・ な点なさは日で新券毎 ての明市が時 はいた提町を県いでおい健をにしに年中で、出村1民方本、。康過郵いな8 税平保27 け所証の所日

さく高

必に風く

要慣がな

でれ弱い

が

0歳~中学校3年生 (8月診療分から)

改正前 改正後 通院1回 200円300円 200円300円 入院 1 日 保険調剤 無料 無料

更子う

ども に郵送した。 管理器 な 月 医 ま 1 課もま券 す日費 すは に助 ごかが7 新成 し受い給 絡い8 下 く場月旬

のが担ど べな等市額保32 割民は険00準医月わ担 0 0 額療 の税変調 入み非更剤円円 で院課課なににか通助診す額 ・税税くか変ら院成療通世世、かわ千・受分 院帯帯無るり葉入給か はお料負ま県院券ら 変よで担す基分の ′。準) 剤わびす基

基も

ょ 住 康 が る 保 必 所 世

へ申 旨た しに 出は 健 て康 管

ン後 約 5 制 3

い用機用

ア

コ

0)

上

才

保

冷

要 だ理

市の公共施設の一室を予育で親子の交流の場として開放しています

○総合保健福祉センター開放日

工事のため、1カ月 間利用できません。

○スポーツプラザ開放日

7月3日金・7日火・

10日金 · 15日水 · 22日(水) · 24日(金) ·

29日(水)·31日(金)

〈開放時間〉

〈使用の注意事項〉 ○特定の団体のみの使用はできません。

○事故やケガなどには十分注意してください。

午前9時~午後4時

間児童家庭課☎443−1693

図書館に行ってみよう

図書館のホームページ http://www.library.yachimata.chiba.jp 電話番号 043-444-4946

〈夏休み子ども科学講座〉※無料

極限生物クマムシとトンボ・ホタルなどのふしぎな世界

晴 7 月23日休〉午前10時~11時30分

対市内在住・在学の小学校3年生~6年生

定50人(申込順) 費無料

申図書館カウンターまたは電話

〈今月の催し〉

◇えほんがうごくえいがかい【対象:3歳程度~】

7月11日(土) 午前10時30分~、午後2時~(各30分) 『ねずみのなるき』、『すいかのたね』、『おつかい』

◇パラダイスシアター【対象:一般】

7月7日(火) 午前10時30分~、午後2時~(各69分)

『蛇蠍のごとく 下巻』(主演:小林 桂樹)

7月14日(火) 午前10時30分~、午後2時~(各125分)

7月19日(日) 午後2時~ (125分)

『そして父になる』(主演:福山雅治)

〈今月の休館日〉

 $6 \cdot 13 \cdot 20 \cdot 21 \cdot 27 \cdot 31$

図書館は、休館日を除く毎週水曜日・金曜日は 午後7時まで開館しています

夜間および休日の市税納付・納税相談窓口

とき ○夜間 7月7日火 · 14日火 · 21日火 · 28日火 午後5時15分~8時

7月26日(日) 午前8時30分~午後5時 ○休日 ところ 市役所納税課

毎週月~金曜日(祝日を除く)

午前9時~午後4時

業務内容

[消費生活相談]

市税の納付、納税相談

週納税課☎443─1115

7月の移動図書館〈ひばり号〉巡回予定日時

1日・15日(第1・	第3水曜日)
場所	時間
富山区コミュニティセンター	午後1時40分~2時00分
榎戸第2児童公園付近(泉台)	午後2時10分~2時30分
藤 の 台 集 会 所	午後2時40分~3時00分
みどり台第1児童公園	午後3時20分~3時40分

2日・16日 (第1・	第3木曜日)
場所	時間
二州小学校沖分校	午前10時10分~10時30分
八街市役所	午後 0 時40分~ 1 時00分
文違コミュニティセンター	午後1時20分~1時40分
市営住宅朝陽団地	午後2時00分~2時20分

8日・22日 (第2・	第4水曜日)
場所	時 間
二 州 小 学 校	午後1時10分~1時30分
宮ノ原コミュニティセンター	午後1時40分~2時00分
上砂やすらぎの家	午後2時10分~2時30分
吉倉ガーデンタウン	午後2時50分~3時10分
希望 ケ 丘	午後3時30分~3時50分

	9日・23	日(第	2 .	第4木曜日)
	場	所		時	間
市営	住宅笹	引団	地	午前9時40分	~10時00分
大谷流	子ども	の遊び	ゞ場	午後1時50分	~2時10分
用 章	草 公	民	館	午後2時30分	~2時50分
朝日区に	コミュニテ	イセン	ター	午後3時20分	~3時40分

※暴風雨などの悪天候の時は運行を中止します。

※7月26日(日)は市役所 の日曜開庁日です。

市民課・課税課・納税 課・国保年金課で業務の 部を取り扱いますので ご利用ください。(ただ し、住民異動が伴う業務 ・国民年金業務は取り扱 うことができません)

間八街市消費生活センター

2 4 4 3 - 9 2 9 9

今月の納付

固定資産税・ 都市計画税

2期

国民健康保険税 1期

相談はすべて無料です。お気軽にご相談ください。

السالة		0 <u>5</u> €%	
[法律相談(弁護士)]	7月1日(水·15日(水) 午後1時~4時	総合保健 福祉センター	受付は先着10人まで。 申 電話で相談当日午前8時 30分から社会福祉協議会 ☎ 443-0748
[心配ごと相談]	毎週水曜日(祝日を除く) 午後1時~4時	総合保健 福祉センター	間社会福祉協議会☎443-0748
[気になる子どもの個別相談]	7月13日(月) 午前10時~午後3時	総合保健 福祉センター	間社会福祉協議会☎443-0748
[こころの健康相談]	7月13日(月) 午後2時~4時	総合保健 福祉センター	間 障がい福祉課 ☎ 443−1649
[年金相談]	年金相談は隔月(偶数月 問国保年金課☎443-		開催となりました。
[交通事故相談]	7月17日金 午前10時~午後3時	総合保健 福祉センター	予約制。 問 防災課 ☎ 4 4 3 − 1 1 1 9
[人権·行政合同相談]	7月23日休 午後1時~4時	市役所1階 第1相談室	人権擁護委員と行政相談委員が相談を受けます。 聞総務課☎443-1113
[農地相談]	7月23日休 午後1時~4時	農業委員会 会長室	予約制。申し込みは、電話で相談日前日まで。 申農業委員会事務局☎443-1483
[多重債務者相談(市税滞納者)]	7月26日(日) 午後2時~4時	納稅課	受付は先着6人まで。 申納税課窓口または ☎ 443-1115
[家庭児童相談]	毎週月~金曜日(祝日を除く) 午前9時30分~午後4時	総合保健 福祉センター	電話相談も受け付けます。 間児童家庭課☎443-1693
[学校教育相談]	毎週月水金曜日(祝日を除く) 午前9時~午後3時	八街市教育支援 センターナチュラル	電話相談も受け付けます。 問八街市教育支援センターナチュラル☎310-5017
[家庭教育相談]	毎週月~金曜日(祝日を除く) 午前9時~午後4時	社会教育課	間社会教育課☎443−1464
		and the second s	

市役所1階

商工課内